

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	空き家対策事業			事業番号	17-103
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	都市部	重田 浩光	建築住宅課	藤堂 勝彦	

計 画 (Plan)

総合計画体系	安心力	まちづくり目標	2	地域で助け合う安全で安心なまち	
		基本政策	5	暮らしの安心がひろがるまちづくり	
		施策展開の方向	8	暮らしの安全を守るまちをつくる	
		施策	17	地域とともに取り組む防犯対策の推進	
予算事業名					
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→			法令上の位置づけ	できる規定がある
事業開始年度	開始年度	平成28年度	～	終了年度	-
関連法令等	空家等対策の推進に関する特別措置法				
国・県の計画等				計画期間	
関連個別計画				計画期間	
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	全国的に増加している空き家は、防犯・防災上の様々な問題を生じさせ、放置した場合、問題が深刻化することから、平成27年に空家等対策の推進に関する特別措置法が完全施行され、対策が求められています。また、老朽化した危険な空き家は、倒壊等による二次被害や救助活動の妨げになることから、その対策が求められています。				
目的 (何をどうしたいのか)	地域住民の生活環境に様々な影響を及ぼす恐れのある空き家の、適切な管理を促す取組等を推進します。				
主な対象 (誰・何を対象に)	市民および空き家等の所有者				
事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家の実態を定期的に把握するとともに、空き家の適切な管理が行き渡るよう啓発を行います。 ・関係部署と連携し、空き家の相談等に適切に対応します。 ・管理不全な空き家が、法的措置が必要な「特定空き家」とならないよう啓発を行います。 				
事業行程	項目	年度			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	空き家の状況管理と活用の検討	随時更新・活用検討	随時更新・活用検討	随時更新・活用検討	
	適切な空き家管理の周知啓発	広報・ホームページによる周知啓発	広報・ホームページによる周知啓発	広報・ホームページによる周知啓発	
管理不全な空き家への対応	啓蒙・啓発	啓蒙・啓発	啓蒙・啓発		
目 標	【指標名】	【現状値】	年度		
			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	特定空き家の発生数	0件 (平成29年度)	0件	0件	0件



事業実施 (Do)

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)					
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> すべて直接実施 <input type="radio"/> 左記以外				
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者		
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先		
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容		
実施結果	項目		年度		
			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	空き家の状況管理と活用の検討		随時更新・活用調査		
	適切な空き家管理の周知啓発		広報・ホームページによる周知啓発		
	管理不全な空き家への対応		啓蒙・啓発		
実施した取組の内容	・空き屋の状態を把握・管理するため、現地調査を実施し、データを更新しました。 ・市とシルバー人材センターが相互に連携・協力し、空き家の適正な管理を進めることを目的に、平成30年10月に協定を締結しました。 ・管理不全な空き家の所有者に対し、課題や活用の考えを把握するため、アンケート調査を実施しました。				
目標の達成状況	【指標名】		年度		
		【現状値】	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	特定空き家の発生数	0件 (平成29年度)	0件		

年度	平成30年度 実績				令和元年度 実績				令和2年度 実績				
	事業費合計 (a)	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
内訳	国県支出金 ①	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
	地方債 ②	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
	その他特財 ③	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源 (a)-①-②-③	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
国県支出金の内容													
コスト	その他特財の内容	受益者負担	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無		前回の改定時期								
		その他											
人件費	正規職員	0.248	人	2,110	千円	0	人	0	千円	0	人	0	千円
	その他の職員	0	人	0	千円	0	人	0	千円	0	人	0	千円
	人件費合計 (b)	0.248	人	2,110	千円	0	人	0	千円	0	人	0	千円
トータルコスト (a)+(b)				2,110	千円			0	千円			0	千円
単位当たりコスト	対象数	定義	市民		単位			単位			単位		
		対象数	102,416		人								
	総事業費 / 対象数	21		円				円				円	

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	B	左記判断理由	空き屋の状態を把握・管理するため、現地調査を実施し、データを更新しました。 また、市とシルバー人材センターが相互に連携・協力し、空き家の適正な管理を進めることを目的に、協定を締結しました。 さらに、管理不全な空き家の所有者に対し、課題や活用の考えを把握するため、アンケート調査を実施しました。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	—	他都市の事業内容等	地域により空き家の存在する背景が異なるため、他都市との一律な比較は困難と考えます。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	空き家の状態により、所有者へシルバー人材センターの活用など、適切な管理を促すことで、一定の改善が図られています。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	継続して、空き家の状態を把握・管理することで、効率的に対応ができています。


 取組の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	空き家対策について、まずは、所有者が自らの責任により対処することが基本となりますが、所有者の課題を把握し、事情により対応することも重要であると考えます。
令和元年度の取組方針		空き家の状態を継続的に把握し、適切な管理を推進するために、所有者に対する管理上の問題点や意向等を把握することで、効果的な対策を推進します。		
所管部長による総評		空き家対策については、所有者による適正管理が基本であることから啓蒙・啓発を行うとともに、シルバー人材センターや自治会等が連携して取り組む必要があります。 また、空き家の利活用については、さまざまな手法が考えられ、先進事例等の実績を調査研究し、本市における有効性を判断する必要があると考えます。		